

町政を問う

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関（町長・教育長など）に疑問点について、所見を伺うことです。



高橋 克英 議員

物価、人件費等高騰の対応について………4～5



辻 紀樹 議員

長万部の未来について………5～6

● 議員の出席簿 ●

令和8年4月～令和8年6月

会 議 名	開催日	橋本	辻	大谷	北川	高森	長崎	高橋	村川	柏倉
第 2 回 定 例 会	6 月 16 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 月 19 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会	5 月 7 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 月 12 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総 務 常 任 委 員 会	5 月 29 日	○	○	○	○	○	○	—	○	○
	6 月 19 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産 業 建 設 常 任 委 員 会	6 月 12 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 運 営 委 員 会	6 月 12 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6 月 16 日	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 会 広 報 編 集 会 特 別 委 員 会	4 月 10 日	○	○	—	—	○	—	—	○	—
	6 月 19 日	○	○	—	—	○	—	—	○	—

○（出席） ×（欠席） —（出席対象外）

— 高橋 克英 議員 —

物価、人件費等高騰の対応について

(町長) 補正予算の計上や工期の延長などにより対応する

高橋 近年、ロシアのウクライナ侵攻への長期化や、最近ではアメリカ・イスラエルによるイラン攻撃で原油価格が高騰し、また、急激な円安による輸入物価の上昇などにより、国内諸物価が上昇している。

特に土木工事や建築工事等については、建設資材や人件費が高騰しており、予算編成の際はそれらのコストの上昇分を上乘せしていると思うが、年度中のさらなる物価の上昇等があった場合にどのように対応していくのか。

また、一般的な公共工事においては国及び道の積算を基準にしていると思うが、長万部町独自の設計や積算基準を制定し算出することも可能なのか、町長の所見を伺う。

町長 近年、建設資材価格や人件費の著しい上昇に加え、原油価格の高

騰等の影響により、さらなる物価上昇や一部資材の生産供給の見通しが立たない事態となっている。予算編成時には、国や北海道をはじめ関係機関からの情報を基に、想定されるコスト上昇分を加味して予算を編成し、事業を実施している。

しかしながら、予測を超える物価上昇等により予算不足が生じるおそれがある場合には補正予算を計上、資材調達に係る納期に影響がある場合には工期を延長するなどの対応を行い、事業の着実な完了に努めていく。

また、工事積算基準においては、工事の大半が国の補助事業等を活用して実施していることから、町独自の基準は制定せず、引き続き国及び道の基準に基づき適正な積算を行っている。

高橋 ここ2、3年で入札、見積もり合わせ等

で不調や不落はあったか。
建設課長 令和6年度に不落が1件あった。

高橋 その不落になった工事について、その後再度入札は行ったのか。

建設課長 再度設計価格を見直し、入札を執行した。

高橋 工事見直しの内容を伺う。

建設課長 橋梁の修繕工事について、橋脚・橋台の補修・修復、橋面の防水、舗装の打ち換えに係る資材労務費の見直しを行った。

高橋 北海道等では契約書に物価等の変動による契約変更に係る条項、いわゆるスライド条項を謳ったものがあるが、内容の説明と当町でも契約書に謳っているか伺う。

建設課長 当町では国土交通省で定めている公共工事標準請負契約書を使用しており、その契約書の第26条の中に賃金ま

たは物価の変動に基づく請負代金額の変更という条項がある。いわゆるスライド条項といわれるもので、町の契約書にも謳われている。

高橋 そのスライド条項を適用した工事はあるのか。



スライド条項を適用し整備した町道長万部中の沢線

建設課長 令和5年度、6年度に債務負担行為で行った町道長万部中の沢

線の道路付替工事、令和5年度に実施した公営住宅建設工事の建築主体、令和6年度に繰越を行った美路橋修繕工事について、スライド条項を適用し、契約金額等の変更を行った。

高橋 今後も世界情勢の変化により国内の諸物価が高騰していくと考えられるが、入札の不調・不落の抑制や、受注後の変更などの仕組み作りをどのように取り組んでいくのか伺う。

町長 ここ数年で人件費が急激に上昇し、建設コストの増加につながっている。また、アメリカ、イスラエルによるイラン攻撃により、中東から入ってくる石油などの原材料の問題が、経済に大きな影響を与えている。建設資材については高騰が続いており、ナフサも目詰まりにより供給が滞るなど、価格の動向を

注視しているが、今後が見通せない状況にある。

世界経済の動向次第では、物価高騰は直ぐには収まらず今後もしばらくは続くと考えている。

町内においては、生産者に物が行き渡り、適正な価格で生産できるようになれば好ましい状況であるが、同時に生産者の支援についても考えていかなければならない。

入札にあたっては、資材価格や人件費の高騰により積算が難しく、不調や不落が発生しやすい状況になっている。人件費や物価の高騰は、今後さらに進むとの前提で、対応していかなければならないと考えている。

できるだけスムーズに進めて行きたいが、世界経済に翻弄されているのが長万部の実情だということをご理解いただきたい。

― 辻 紀樹 議員 ―

長万部の未来について

(町長) 町民の先頭に立ち目標の実現に向け全力で取り組む

辻 就任以来、3期

12年の間には、誰もが実現困難と考えられていた北海道新幹線長万部駅の地上駅から高架駅への変更をはじめ、町民の安心につながる葬斎場の改築、小中学校生の医療費完全無料化の実現など、将来を見据えた数々の事業を力強く推進してきた。これらの取組は、長万部町の暮らしの質を高めるとともに、次世代に誇れるまちづくりの土台を着実に築き上げたものとして高く評価されている。

また、昨年末より本格的に取り組んでいる新幹

線車両による長万部貨物ターミナル駅誘致の取組は、地域振興と環境負荷の少ない次世代型物流の実現に向けた極めて先進的な挑戦であり、町の将来に大きな可能性を秘めており、町民もその実現に大きな期待を寄せている。

町長選挙出馬にあたり、「50年、100年先を見据えたまちづくり」という大きな方向性を示している。人口減少や少子高齢化が進む中で、将来世代の暮らしを見据えたビジョンを掲げることは、大変重要な視点であると受け止めている。

この「50年、100年

先を見据えたまちづくり」とは、どのような町の姿を描いているのか町長の所見を伺う。



新幹線工事の様子

町長 私は、長万部町

長に就任以来、町民の声に耳を傾け、共に歩むま

ちづくりを基本理念とし

て町政運営に取り組ん

できた。また、町民との約

束である公約の実現を念

頭に置きながら、時代の

変化に的確に対応し、財

政の健全性の確保と公共

事業の必要性を十分に検

証しつつ、職員と協議を

重ねながら各種施策を推

進してきた。町民のすべ

ての要望や期待に応える

ことは容易ではないが、

町政を預かる者として、

その実現に向け最大限の

努力を重ねてきたところ

である。

しかしながら、本町の

将来を見据えて進めてき

た各種事業については、

北海道新幹線札幌延伸の

開業時期が当初予定の2

030年度末から203

8年度以降へと大幅に遅

れることが公表され、本

町が将来に向けて大きな

変革を目指し推進してき

たまちづくりにも少な

く影響が生じている。

そのような状況にあつ

ても、私は町民の期待と

希望の灯を絶やすことな

く、将来の発展に向けた

歩みを止めてはならない

との思いで、2030年

度を目途に各種事業を着

実に進めているところで

ある。

また、北海道新幹線の

開業による効果を最大限

に本町の発展につなげる

ため、かねてより期待さ

れている新幹線物流の実

現に向け、長万部町が新

幹線貨物ターミナルの立

地に最も適した地域の一

つであるとの認識のもと、

北海道が取りまとめる関

連施策への位置付けや国

との協議への参画を目指

し、行政、議会、そして

北海道新幹線建設促進長

万部町期成会が一体とな

って北海道庁へ要望書を

提出するなど、要望活動

を開始した。

さらに、本年5月26

日には行政が率先し、

国に対して最初の意思

表明を行うべく、国土

交通省鉄道局をはじめ

とする関係機関に対し

て要望書を提出し、長

万部町の決意を直接示

すことができたところ

である。

もとより、このよう

な取組が短期間で実現

するものではないが、

北海道新幹線長万部駅

の開業と新幹線貨物タ

ーミナルの実現が連動

することにより、本町

には新たな可能性が生

まれるものと考えてい

る。

50年先、100年先

を見据えた長万部町の

未来のため、町民の先

頭に立ち、町議会並び

に期成会の皆様と力を

合わせながら、目標の

実現に向けて全力で取

り組んでまいりたいと

考えている。

このたびの町長選挙

への立候補については、

自身の年齢や体力面に

ついて十分承知してい

るところだが、それ以

上に長万部町の未来に

対する責任と使命を強

く感じている。

そのため、引き続き

町政を担い、本町のさ

らなる発展に向けて全

力を尽くしたいとの決

意のもと、町長選挙へ

の立候補を表明したと

ころであり、ご理解を

賜りますようお願い申

し上げる。

議会議員研修会

7月2日、札幌コンベンションセンターにおいて北海道町村議会議員研修会が開催され、「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」と題して関東学院大学法学部地域創生学科教授の牧瀬稔氏より、また、「どうなる政治・経済 ～日本再生のために何が必要か～」と題してジャーナリストの須田慎一郎氏より講演を受けてきました。

